

**公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー**  
**所管事務調査説明資料**

目 次

**第1章 公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの概要**

1	名称、設立年月日、所在地	1
2	設立目的	1
3	事業内容	1
4	基本財産	1
5	組織及び役職員数	2
6	役員及び評議員名簿	3

**第2章 令和3年度決算状況**

1	事業報告	4
2	貸借対照表	9
3	正味財産増減計算書	10
4	財務諸表に対する注記	14
5	附属説明書	15
6	財産目録	16
7	収支計算書	17
8	契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約	17
9	契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約	17

**第3章 令和4年度事業計画**

1	事業計画	18
2	収支予算書	22

令和4年7月22日

経済観光文化局



# 第1章 公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの概要

## 1 名称、設立年月日、所在地

- (1) 名称 公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー
- (2) 設立年月日 昭和62年 9月 1日
  - ※昭和22年11月 福岡市観光協会設立
  - 昭和40年12月 (社) 福岡市観光協会 (法人化)
  - 昭和62年 9月 (財) 福岡コンベンションビューロー設立
  - 平成 6年 4月 (社) 福岡市観光協会と (財) 福岡コンベンションビューロー合併
  - (財) 福岡観光コンベンションビューロー へ
  - 平成24年 4月 公益財団法人に移行
- (3) 所在地 福岡市中央区大名二丁目5番31号

## 2 設立目的

福岡市及び周辺地域との緊密な連携のもとに、観光客の誘致、コンベンション（国際・国内の各種会議、展示会等をいう。）の誘致等を行うことにより、福岡市における観光及びコンベンションの振興を図り、もって国際、国内観光の振興による人的交流の促進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に寄与することを目的とする。

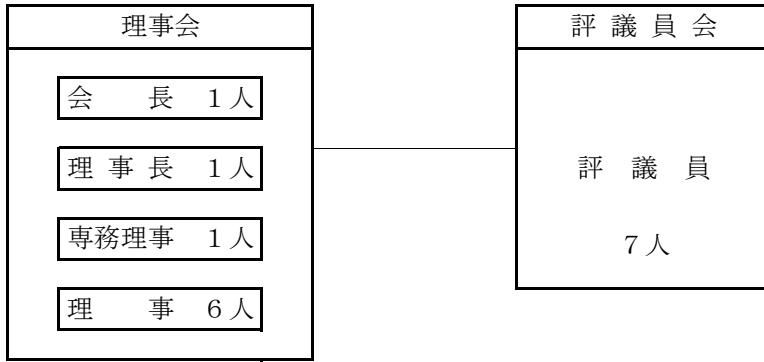
## 3 事業内容

- (1) 観光客の誘致及び受入
- (2) コンベンションの誘致及び主催者に対する支援
- (3) 観光・コンベンション都市福岡の広報及び宣伝
- (4) 観光及びコンベンションの調査、企画及び開発
- (5) 観光及びコンベンションに関する情報の収集及び提供
- (6) 福岡市からの委託による受託事業の管理運営
- (7) 旅行業法に基づく旅行業
- (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 4 基本財産

796,000千円（福岡市 755,000千円 94.8%）

5 組織及び役職員数（令和4年度） ※7月1日現在



○事務局職員の内訳

福岡市からの派遣職員	5人
民間企業からの派遣職員	5人
固有職員（嘱託含む）	14人
計	24人

監事 2人

24人

事務局長

4人（市派遣3人、固有1人）

総務部

総務企画グループ

- ・理事会及び評議委員会に関すること
- ・予算、決算及び経理に関すること
- ・人事、給与に関すること
- ・賛助会員の管理及び運営に関すること など

4人（民間派遣1人、固有3人）

観光事業部

観光事業グループ

- ・観光事業の企画、実施
- ・観光プロモーション、修学旅行誘致等に関すること
- ・観光行事、イベントの支援に関すること
- ・受入環境の整備に関すること など

15人

ミーティング・プレイス・フカオカ  
セールス&マーケティング部

5人（市派遣1人、固有4人）

広報戦略・  
マーケティンググループ

- ・財団の戦略的広報、情報発信
- ・国内外MICEリサーチ、マーケティング など

10人（民間派遣4人、固有6人）

セールスグループ

- ・国内外MICE誘致、開催支援
- ・MPFの企画運営 など

6 役員及び評議員名簿（令和4年7月1日現在）

○役員

役職名	氏 名	就任年月日	備 考
会 長 (代表理事)	谷 川 浩 道	令和3年6月25日	福岡商工会議所 会頭
理 事 長 (代表理事)	戸 田 康一郎	令和3年4月1日	西日本鉄道株式会社 代表取締役副社長執行役員
専務理事 (業務執行理事)	高 島 収	令和3年4月1日	(常勤)
理 事	安 川 仁	令和4年4月1日	株式会社九電工 執行役員
理 事	豊 福 辰 也	令和3年7月26日	福岡市ホテル旅館協会 会長
理 事	高 山 健 司	令和4年6月7日	西部ガスホールディングス株式会社 取締役常務執行役員
理 事	桂 原 耕 一	令和3年6月25日	一般社団法人日本旅行業協会 九州支部 支部長
理 事	天 本 俊 明	令和4年6月7日	福岡市 経済観光文化局長
理 事	小野田 勝 則	令和3年4月1日	一般財団法人福岡コンベンションセンター 理事長
監 事	内 富 誠	令和3年4月1日	株式会社西日本シティ銀行 執行役員 地域振興本部 副本部長
監 事	山 内 徳 一	令和4年6月7日	株式会社福岡銀行 地域共創部長

○評議員

役職名	氏 名	就任年月日	備 考
評 議 員	落 石 俊 則	令和4年6月7日	福岡市議会 経済振興委員会 委員長
評 議 員	松 本 恭 子	令和4年7月1日	福岡商工会議所 専務理事
評 議 員	千 相 哲	令和2年6月26日	九州産業大学 副学長
評 議 員	辻 慎 一	令和3年7月26日	九州電力株式会社 ビジネスソリューション総括本部 地域共生本部 総務部長
評 議 員	中 村 英 一	令和2年6月26日	福岡市 副市長
評 議 員	山 根 久 資	令和4年6月23日	九州旅客鉄道株式会社 上席執行役員総務部長
評 議 員	里 浦 徹	令和4年4月1日	一般社団法人九州観光機構 事業本部長

## 第2章 令和3年度決算状況

### 1 事業報告

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、福岡型ワーケーションや修学旅行等による都市圏周遊の推進、新たな体験・滞在型コンテンツの造成など、需要喚起に取り組んだ。

MICEにおいては、コロナ禍における開催ニーズに応えるため、オンライン配信に必要な施設環境の整備や主催者の安全対策を支援するとともに、ポスト・コロナ期を見据え、オンラインも含めた営業活動や情報発信を強化するなど、地域経済の回復と活性化に向けた取り組みを行った。

#### (1) 地域資源を活かした観光振興及び受入環境の向上

食、歴史、文化、祭り、自然などの地域資源を活用した魅力づくりを推進するとともに、市民や来訪者のニーズを把握しながら地元や関係団体等と連携し、受入環境の向上に取り組んだ。

##### ① 地域資源を活かした観光振興

ア 福岡市観光案内ボランティア〔登録数：58名〕の運営

「定時ツアー」及び新しい観光コースの開発や実施に向けた「スキルアップ研修」を実施

イ 「まち歩き」ツアーの実施

・元寇防塁、古代ロマン那珂・比恵における「まち歩き」ツアー〔参加者数：計25名〕

※15件中止

・オンライン「まち歩き」ツアー〔テーマ：マンホール、参加者：113名〕

ウ 観光情報サイト「よかなび」での情報発信や「まち歩き」動画の制作・配信

エ 福岡城エリアの魅力づくり

・福岡城「御城印」の販売〔販売実績3,507枚〕

・体験型コンテンツ（ドローン空中記念撮影）の販売開始

・さくらまつりにおける学生との共同企画実証（飲食・散策サービス）

##### ② 祭りの振興

本市の貴重な観光資源である祭りや文化的行事の継続的な振興のため支援を行った。

※「博多どんたく港まつり」は開催中止、「博多祇園山笠」は飾り山笠を建設・公開（昇き山笠は延期）

##### ③ 福岡検定の実施〔受験者数：626名、合格者数：414名〕

福岡への愛着を深めてもらうとともに、おもてなしの心の醸成を図るため、福岡市、福岡商工会議所との共催により、オンラインによるWEB版「福岡検定」を実施した。

##### ④ 受入環境の向上

来訪者が安全安心かつ快適に過ごすことができるよう、観光案内機能の強化など受入環境の整備に取り組んだ。

- ア 観光案内所の管理・運営及び案内機能の強化〔利用人数：169,825人〕  
※一部休業：5/12～6/20、8/9～9/30（リモート観光及び電話対応のみ）
- イ 市内「観光サービス従事者」向けの研修の企画・実施
- ウ ウェルカムサポーター〔登録数：100名〕の運営  
「福岡城英語ツアーガイド（20名）」を養成し、トライアルツアーを実施
- エ 福岡観光ガイドブック・観光マップの制作・発行

## （2）観光客の誘致

観光客の誘致を促進するため、地域や関係団体等と連携し、福岡型の新たな観光スタイルを推進する事業を実施した。

### ① 修学旅行等による都市圏周遊の推進

都市圏の自治体等と連携し、福岡市内に宿泊する修学旅行等の受入れに取り組むことで、都市圏を含む周遊観光を推進した。

- ア 修学旅行等に係る交通費（貸し切りバス）の支援
- イ 体験学習プログラムの開発の支援
- ウ 体験学習プログラムの参加費支援
- エ 福岡エリア（福岡市と都市圏エリア）の修学旅行をサポートする専用サイト「福岡修学旅行NAV I」の開設と「体験学習プログラム」等の情報発信

### ② 福岡型ワーケーション推進事業

地元企業等と連携し、福岡市の強みである都市機能と自然が近接したコンパクトシティの魅力や都心部におけるビジネス環境の良さ等を活かした都市型ワーケーションを推進することで、ビジネス需要の喚起を図った。

- ア 地元企業等の事業者（パートナー）の募集及び専用ポータルサイト「W@F（ワフ）」による情報発信
- イ ワケーション旅行商品の企画・造成、販売促進

### ③ 観光庁「新たな旅のスタイル促進事業」

ワーケーション受入のモデル地域に採択され、参加した首都圏企業に対し、都心部における快適なビジネス環境や市内企業との交流機会を提供するほか、郊外部における豊かな自然を活かした観光コンテンツ等を体感いただくなど、「福岡型ワーケーション」のプログラムを企画・実施した。

### ④ 多様な連携

県内の自治体等と連携し、「日本観光ショーケースin大阪・関西」に修学旅行誘致に向けた出展を行った。また、九州主要都市観光協会連絡協議会において情報交換を行った。

### (3) MICEの誘致及び支援

コンベンション等のオンライン化や規模縮小など、MICEにおける新型コロナウイルス感染症の影響が続いているが、現地開催とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催など、新たなMICE需要を開拓・支援するとともに、より質が高く、地域経済への波及効果が高いMICE誘致を目指し、オンライン商談等を通じて積極的な営業活動を実施した。

#### ① MICEのハイブリッド開催支援事業

MICE主催者向けにハイブリッド開催に係るオンライン配信経費や安全対策費、MICE施設向けにオンライン配信用機材購入費等を助成した。〔施設：21件、主催者：97件〕

#### ② コンベンションの誘致〔国内：118件、国際：14件〕

イベント規制や移動制限等が長期化する中、オンラインを活用した商談や主催者向けセミナーを実施した。

ア コンベンションの誘致活動（大学職員向けセミナー）

イ MICE見本市・商談会へのオンライン参加（アメリカ、オーストラリア）

ウ 地元学术界・産業界とのネットワーキング ※事業中止

エ マーケティング活動 ※事業中止

#### ③ コンベンションの支援

事前準備段階から開催に至るまで、主催者のニーズに応じた支援・サービスを実施した。

ア 国際・国内大規模コンベンション開催資金の助成 ※交付実績なし

イ コンベンションサポート事業〔サポート件数：87件〕

#### ④ MICE人材育成事業〔登録者数：198名〕

MICE業界を担う人材の育成を図るため、大学生等を対象に、MICEの基礎を学ぶオンラインセミナー、オンライン国際会議の視察などを実施した。

#### ⑤ コンベンション関係団体との連携

国内外のコンベンション関係団体との緊密な連携及び関係強化を図ることにより、コンベンション誘致に係る情報収集や共同誘致活動などを行った。

ア 九州各都市コンベンション協会との連携

イ MICEの国際ネットワーク活用（新たにMICEハイブリッド開催推進都市ネットワークに加盟）

#### ⑥ インセンティブツアーの誘致

ア インセンティブツアー（企業等が成績優秀社員を海外に招待する報奨旅行）誘致活動  
〔オンライン商談：北京、豪州、マレーシア・フィリピン〕

イ 観光庁「海外からのインセンティブ旅行誘致に関わるコンベンションビューロー等機能高度化事業」の支援対象都市に選ばれ、立案から実践までの実務研修を受講

ウ おもてなし体験プログラムの開発及び情報発信



#### (4) 情報発信・広報

情報発信を戦略的に展開していくとともに、観光・MICEに関するトピックや統計情報などの提供を行った。

- ① 財団ホームページ及び「よかなび」の管理運営
- ② 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行〔年4回、各2,500部発行〕
- ③ 海外メディアへの情報提供〔情報提供：5件〕
- ④ SNSを活用した国内・国外（英語、中国語）への情報発信、財団ホームページの改修
- ⑤ 宿泊など統計情報の収集・提供

#### (5) 賛助会員・組織運営

賛助会員向けの交流会を実施したほか、会議・展示会などの情報提供を行った。また、観光コンテンツの企画・開発などを行った。

- ① 賛助会員サービス
  - ア 賛助会員交流会の開催  
〔会場参加者数：約100名、オンライン参加者数：約80名、ビジネスマッチング：約50件〕
  - イ 賛助会員・事業者向けのデジタルマーケティングセミナーの開催 ※事業中止
  - ウ コンベンションスケジュールの作成、提供
  - エ メールマガジンで最新情報などを配信〔市支援施策等の情報提供〕
  - オ 財団ホームページ、機関誌によるPRなど
- ② 観光コンテンツの企画・開発  
賛助会員と連携し、福岡の食、歴史、文化、自然などを活かした観光コンテンツの企画・開発を行った。

(6) 会議

① 理事会の開催状況

会議名	開催日	内容
令和3年度 第1回理事会	令和3年4月1日 ※決議の省略	代表理事及び専務理事の選定
令和3年度 第2回理事会	令和3年5月26日 ※決議の省略	令和2年度事業報告及び決算報告 評議員会の開催 事業報告等の定期提出書類
令和3年度 第3回理事会	令和3年6月25日 ※決議の省略	代表理事の選定
令和3年度 第4回理事会	令和3年7月26日 ※決議の省略	評議員会の開催
令和3年度 第5回理事会	令和3年11月29日 ※決議の省略	評議員会の開催
令和3年度 第6回理事会	令和4年3月30日	令和4年度事業計画案 令和4年度収支予算案 評議員会の開催

② 評議員会の開催状況

会議名	開催日	内容
令和3年度 第1回評議員会	令和3年6月25日 ※決議の省略	令和2年度事業報告及び決算報告
令和3年度 第2回評議員会	令和3年7月26日 ※決議の省略	役員及び評議員の選定
令和3年度 第3回評議員会	令和3年11月29日 ※決議の省略	役員の報酬額変更

※上記①、②の表中の「決議の省略」とは、いわゆる書面決議のことであり、定期の役員選定などについて実施しているものである。事業計画や予算・決算など重要事項については、会議開催により決議している。ただし、第2回理事会と第1回評議員会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため決議の省略を行った。

2 貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	207,887,606	76,041,640	131,845,966
未収金	8,949,352	10,629,939	△ 1,680,587
前払金	116,500	29,000	87,500
商貯蔵品	661,605	639,904	21,701
立替金	38,368	56,326	△ 17,958
	600,000	0	600,000
<b>流動資産合計</b>	<b>218,253,431</b>	<b>87,396,809</b>	<b>130,856,622</b>
<b>2 固定資産</b>			
(1)基本財産			
定期預金	29,618,602	29,618,602	0
普通預金	734,002	732,632	1,370
投資有価証券	765,647,396	765,648,766	△ 1,370
<b>基本財産合計</b>	<b>796,000,000</b>	<b>796,000,000</b>	<b>0</b>
(2)特定資産			
退職給付引当資産	7,539,200	7,091,370	447,830
ソフトウェア	3,477,375	0	3,477,375
<b>特定資産合計</b>	<b>11,016,575</b>	<b>7,091,370</b>	<b>3,925,205</b>
(3)その他固定資産			
建物附属設備	649,351	752,730	△ 103,379
什器備品	1,691,760	2,221,820	△ 530,060
ソフトウェア	1,031,802	1,438,445	△ 406,643
電話加入権	907,603	907,603	0
預託金	3,000,000	3,000,000	0
<b>その他固定資産合計</b>	<b>7,280,516</b>	<b>8,320,598</b>	<b>△ 1,040,082</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>814,297,091</b>	<b>811,411,968</b>	<b>2,885,123</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,032,550,522</b>	<b>898,808,777</b>	<b>133,741,745</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	192,349,045	60,536,786	131,812,259
前受金	0	10,000	△ 10,000
預り金	883,408	954,102	△ 70,694
賞与引当金	3,412,129	3,967,139	△ 555,010
<b>流動負債合計</b>	<b>196,644,582</b>	<b>65,468,027</b>	<b>131,176,555</b>
<b>2 固定負債</b>			
退職給付引当金	7,539,200	7,091,370	447,830
<b>固定負債合計</b>	<b>7,539,200</b>	<b>7,091,370</b>	<b>447,830</b>
<b>負債合計</b>	<b>204,183,782</b>	<b>72,559,397</b>	<b>131,624,385</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
負担金	3,477,375	0	3,477,375
福岡市寄付金	755,000,000	755,000,000	0
福岡県寄付金	2,000,000	2,000,000	0
民間寄付金	39,000,000	39,000,000	0
<b>指定正味財産合計</b>	<b>799,477,375</b>	<b>796,000,000</b>	<b>3,477,375</b>
(うち基本財産への充当額)	( 796,000,000 )	( 796,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 3,477,375 )	( 0 )	( 3,477,375 )
<b>2 一般正味財産</b>	<b>28,889,365</b>	<b>30,249,380</b>	<b>△ 1,360,015</b>
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
<b>正味財産合計</b>	<b>828,366,740</b>	<b>826,249,380</b>	<b>2,117,360</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>1,032,550,522</b>	<b>898,808,777</b>	<b>133,741,745</b>

### 3 正味財産増減計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

#### (1) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	7,471,757	7,474,127	△ 2,370
② 受取会費			
受取賛助会員会費	25,121,250	21,240,000	3,881,250
③ 事業収益			
広告料収益	4,497,403	13,868,397	△ 9,370,994
事業収益	23,925	95,556	△ 71,631
販売収益	1,039,371	436,350	603,021
④ 受取負担金			
市人件費負担金	65,246,132	67,324,000	△ 2,077,868
市事業費負担金	213,201,655	103,937,000	109,264,655
市事業費負担金振替額	565,125	2,657,160	△ 2,092,035
参加者負担等負担金	727,700	204,600	523,100
事業協力負担金	4,837,380	10,012,727	△ 5,175,347
⑤ 受託事業収益			
受託事業収益	524,000	524,000	0
⑥ 雑収益			
受取利息	281	309	△ 28
雑収益	321,027	88,065	232,962
<b>経常収益計</b>	<b>323,577,006</b>	<b>227,862,291</b>	<b>95,714,715</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
① 事業費	323,921,919	230,939,207	92,982,712
役員報酬	8,033,387	8,080,753	△ 47,366
給料手当	61,365,241	65,435,674	△ 4,070,433
臨時雇賃金	2,560,300	5,561,114	△ 3,000,814
退職給付費用	443,351	990,583	△ 547,232
福利厚生費	17,473,451	18,239,042	△ 765,591
広告宣伝費	950,120	1,875,000	△ 924,880
会議費	981,142	650,030	331,112
旅費交通費	2,599,709	1,346,492	1,253,217
通信運搬費	2,674,590	3,200,382	△ 525,792
什器備品費	547,899	119,688	428,211
減価償却費	1,598,776	3,536,210	△ 1,937,434
建物付属設備減価償却費	102,345	102,345	0
什器備品減価償却費	526,892	304,707	222,185
ソフトウェア減価償却費	969,539	3,129,158	△ 2,159,619
消耗品費	2,108,560	3,211,643	△ 1,103,083
印刷製本費	4,219,183	3,772,274	446,909
光熱水費	883,224	775,619	107,605
賃借料	11,029,333	10,739,300	290,033
会場費	160,100	289,149	△ 129,049
諸謝金	395,119	735,356	△ 340,237
記念品費	1,750,451	45,992	1,704,459
支払負担金	69,339,622	21,838,341	47,501,281
手数料	441,163	187,615	253,548
委託費	130,167,991	75,118,571	55,049,420
租税公課	482,141	1,155,865	△ 673,724
保険料	93,000	63,500	29,500
賞与引当金繰入額	3,333,245	3,850,446	△ 517,201
雑費	290,821	120,568	170,253

② 管 理 費	1,015,102	1,266,408	△ 251,306
役 員 報 酬	163,946	164,914	△ 968
給 料 手 当	293,150	401,032	△ 107,882
退 職 給 付 費 用	4,479	10,007	△ 5,528
福 利 厚 生 費	292,518	368,840	△ 76,322
会 議 費	59	322	△ 263
旅 費 交 通 費	1,673	5,448	△ 3,775
通 信 運 搬 費	9,092	9,266	△ 174
什 器 備 品 費	385	0	385
減 価 償 却 費	6,431	5,956	475
建 物 付 属 設 備 減 価 償 却 費	1,034	1,034	0
什 器 備 品 減 価 償 却 費	3,168	2,693	475
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	2,229	2,229	0
消 耗 品 費	1,962	2,719	△ 757
印 刷 製 本 費	27,112	22,947	4,165
光 熱 水 費	8,921	7,835	1,086
賃 借 料	92,425	92,172	253
諸 謝 金	462	1,914	△ 1,452
支 払 負 担 金	16,123	26,563	△ 10,440
手 数 料	2,622	1,683	939
委 託 費	10,117	17,034	△ 6,917
租 税 公 課	4,399	11,063	△ 6,664
賞 与 引 当 金 繰 入 額	78,884	116,693	△ 37,809
雑 費	342	0	342
経 常 費 用 計 額	324,937,021	232,205,615	92,731,406
当 期 経 常 増 減 額	△ 1,360,015	△ 4,343,324	2,983,309
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 1,360,015	△ 4,343,324	2,983,309
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	30,249,380	34,592,704	△ 4,343,324
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	28,889,365	30,249,380	△ 1,360,015
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
受 取 負 担 金	4,042,500	0	4,042,500
市 事 業 費 負 担 金	4,042,500	0	4,042,500
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 565,125	△ 2,657,160	2,092,035
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 565,125	△ 2,657,160	2,092,035
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	3,477,375	△ 2,657,160	6,134,535
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	796,000,000	798,657,160	△ 2,657,160
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	799,477,375	796,000,000	3,477,375
III 正 味 財 産 期 末 残 高	828,366,740	826,249,380	2,117,360

## (2) 正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1 経常増減の部</b>					
<b>(1) 経常収益</b>					
① 基本財産運用益	3,735,536	1,270,315	2,465,906	0	7,471,757
基本財産受取利息	3,735,536	1,270,315	2,465,906	0	7,471,757
② 受取会費	25,121,250	0	0	0	25,121,250
受取賛助会員会費	25,121,250	0	0	0	25,121,250
③ 事業収益	5,345,699	215,000	0	0	5,560,699
広告料収益	4,282,403	215,000	0	0	4,497,403
事業収益	23,925	0	0	0	23,925
販売収益	1,039,371	0	0	0	1,039,371
④ 受取負担金	283,192,769	1,304,923	80,300	0	284,577,992
市人件費負担金	63,860,909	1,304,923	80,300	0	65,246,132
市事業費負担金	213,201,655	0	0	0	213,201,655
市事業費負担金振替額	565,125	0	0	0	565,125
参加者負担等負担金	727,700	0	0	0	727,700
事業協力負担金	4,837,380	0	0	0	4,837,380
⑤ 受託事業収益	524,000	0	0	0	524,000
受託事業収益	524,000	0	0	0	524,000
⑥ 雑収益	321,027	0	281	0	321,308
受取利息	0	0	281	0	281
雑収益	321,027	0	0	0	321,027
<b>経常収益計</b>	<b>318,240,281</b>	<b>2,790,238</b>	<b>2,546,487</b>	<b>0</b>	<b>323,577,006</b>
<b>(2) 経常費用</b>					
① 事業費	320,354,200	3,567,719	0	0	323,921,919
役員報酬	7,869,440	163,947	0	0	8,033,387
給料手当	60,297,918	1,067,323	0	0	61,365,241
臨時雇賃金	2,560,300	0	0	0	2,560,300
退職給付費用	416,481	26,870	0	0	443,351
福利厚生費	17,047,320	426,131	0	0	17,473,451
広告宣伝費	950,120	0	0	0	950,120
会議費	446,808	534,334	0	0	981,142
旅費交通費	2,597,199	2,510	0	0	2,599,709
通信運搬費	2,553,794	120,796	0	0	2,674,590
什器備品費	547,129	770	0	0	547,899
減価償却費	1,583,293	15,483	0	0	1,598,776
建物付属設備減価償却費	100,278	2,067	0	0	102,345
什器備品減価償却費	520,551	6,341	0	0	526,892
ソフトウェア減価償却費	962,464	7,075	0	0	969,539
消耗品費	2,067,985	40,575	0	0	2,108,560
印刷製本費	4,017,559	201,624	0	0	4,219,183
光熱水費	865,381	17,843	0	0	883,224
賃借料	10,844,484	184,849	0	0	11,029,333
会場費	160,100	0	0	0	160,100
諸謝金	351,095	44,024	0	0	395,119
記念品費	1,750,451	0	0	0	1,750,451
支払負担金	69,307,375	32,247	0	0	69,339,622
手数料	435,921	5,242	0	0	441,163
委託費	129,648,909	519,082	0	0	130,167,991
租税公課	473,342	8,799	0	0	482,141
保険料	93,000	0	0	0	93,000
賞与引当金繰入額	3,178,659	154,586	0	0	3,333,245
雑費	290,137	684	0	0	290,821

② 管 理 費	0	0	1,015,102	0	1,015,102
役 員 報 酬	0	0	163,946		163,946
給 料 手 当	0	0	293,150		293,150
退 職 給 付 費 用	0	0	4,479		4,479
福 利 厚 生 費	0	0	292,518		292,518
会 議 費	0	0	59		59
旅 費 交 通 費	0	0	1,673		1,673
通 信 運 搬 費	0	0	9,092		9,092
什 器 備 品 費	0	0	385		385
減 価 償 却 費	0	0	6,431		6,431
建物付属設備減価償却費	0	0	1,034		1,034
什器備品減価償却費	0	0	3,168		3,168
ソフトウェア減価償却費	0	0	2,229		2,229
消 耗 品 費	0	0	1,962		1,962
印 刷 製 本 費	0	0	27,112		27,112
光 熱 水 費	0	0	8,921		8,921
賃 借 料	0	0	92,425		92,425
諸 謝 金	0	0	462		462
支 払 負 担 金	0	0	16,123		16,123
手 数 料	0	0	2,622		2,622
委 託 費	0	0	10,117		10,117
租 税 公 課	0	0	4,399		4,399
賞 与 引 当 金 繰 入 額	0	0	78,884		78,884
雑 費	0	0	342		342
<b>経 常 費 用 計</b>	<b>320,354,200</b>	<b>3,567,719</b>	<b>1,015,102</b>	<b>0</b>	<b>324,937,021</b>
<b>当 期 経 常 増 減 額</b>	<b>△ 2,113,919</b>	<b>△ 777,481</b>	<b>1,531,385</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,360,015</b>
<b>2 経常外増減の部</b>					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0	0
他 会 計 振 替 額	0	0	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 2,113,919	△ 777,481	1,531,385	0	△ 1,360,015
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	12,115,833	△ 15,267,518	33,401,065	0	30,249,380
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	10,001,914	△ 16,044,999	34,932,450	0	<b>28,889,365</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受 取 負 担 金	4,042,500	0	0	0	4,042,500
市 事 業 費 負 担 金	4,042,500	0	0	0	4,042,500
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 565,125	0	0	0	△ 565,125
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 565,125	0	0	0	△ 565,125
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	3,477,375	0	0	0	3,477,375
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	398,000,000	0	398,000,000	—	796,000,000
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	<b>401,477,375</b>	<b>0</b>	<b>398,000,000</b>	<b>—</b>	<b>799,477,375</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>411,479,289</b>	<b>△ 16,044,999</b>	<b>432,932,450</b>	<b>—</b>	<b>828,366,740</b>

#### 4 財務諸表に対する注記

##### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の有価証券については償却原価法（定額法）を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
定額法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準
  - ① 退職給与引当金については期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
  - ② 賞与引当金については支給見込額の当期負担分を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

##### 2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	29,618,602	0	0	29,618,602
普通預金	732,632	1,370	0	734,002
投資有価証券	765,648,766	0	1,370	765,647,396
小 計	796,000,000	1,370	1,370	796,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	7,091,370	447,830	0	7,539,200
ソフトウェア	0	4,042,500	565,125	3,477,375
小 計	7,091,370	4,490,330	565,125	11,016,575
合 計	803,091,370	4,491,700	566,495	807,016,575

##### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	29,618,602	( 29,618,602 )	( 0 )	( - )
普通預金	734,002	( 734,002 )	( 0 )	( - )
投資有価証券	765,647,396	( 765,647,396 )	( 0 )	( - )
小 計	796,000,000	( 796,000,000 )	( 0 )	( - )
特定資産				
退職給付引当資産	7,539,200	( 0 )	( 0 )	( 7,539,200 )
ソフトウェア	3,477,375	( 3,477,375 )	( 0 )	( - )
小 計	11,016,575	( 3,477,375 )	( 0 )	( 7,539,200 )
合 計	807,016,575	( 799,477,375 )	( 0 )	( 7,539,200 )

##### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	1,033,796	384,445	649,351
什器備品	3,931,245	2,239,485	1,691,760
ソフトウェア	5,811,300	1,302,123	4,509,177
電話加入権	907,603	0	907,603
合 計	11,683,944	3,926,053	7,757,891



5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価、評価損益  
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価、評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益	参考			
				額 面	利率 (%)	受取利息	期間(年)
兵庫県平成23年度第1回公債	199,978,666	213,500,000	13,521,334	200,000,000	1.660%	3,320,000	15
兵庫県平成25年度第3回公債	99,972,500	101,530,000	1,557,500	100,000,000	0.560%	560,000	12
第137回福岡北九州高速道路公社債	100,000,000	107,970,000	7,970,000	100,000,000	1.241%	1,241,000	20
第151回利付国債	75,837,350	83,465,250	7,627,900	75,500,000	1.200%	906,000	20
第158回利付国債	139,858,880	141,232,000	1,373,120	140,000,000	0.500%	700,000	20
第154回福岡北九州高速道路公社債	150,000,000	143,595,000	△ 6,405,000	150,000,000	0.497%	745,500	20
合 計	765,647,396	791,292,250	25,644,854	765,500,000		7,472,500	

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取負担金						
受取負担金	福岡市	0	282,490,287	279,012,912	3,477,375	指定正味財産
合計		0	282,490,287	279,012,912	3,477,375	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

内容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	7,471,757
減価償却費計上による振替額	565,125
合計	8,036,882

## 5 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資 産 の 種 類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期帳簿価額
基本財産	定 期 預 金	29,618,602	0	0	29,618,602
	普 通 預 金	732,632	1,370	0	734,002
	投 資 有 価 証 券	765,648,766	0	1,370	765,647,396
	基本財産計	796,000,000	1,370	1,370	796,000,000
特定資産	退職給付引当資産	7,091,370	447,830	0	7,539,200
	ソフトウェア	0	4,042,500	565,125	3,477,375
	特定資産計	7,091,370	4,490,330	565,125	11,016,575

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	7,091,370	447,830	0	0	7,539,200
賞与引当金	3,967,139	3,412,129	3,967,139	0	3,412,129

6 財産目録 (令和4年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
現金預金	普通預金	西日本シティ銀行天神支店(2296738)	運転資金	163,124,021
		福岡銀行福岡市庁内支店(1002482)	運転資金	35,407,568
		ゆうちょ銀行(01740-4-165518)	運転資金	8,243,635
		福岡中央銀行本店営業部(1017112)	運転資金	1,112,382
	未収金	広告料等	公益目的事業、管理業務	8,949,352
	商品	コンベンションバッグ・御城印	公益目的事業	661,605
	貯蔵品	切手・収入印紙	管理業務	38,368
前払金	ボランティア活動保険	公益目的事業	116,500	
立替金	日本観光ショーケース出展料	公益目的事業	600,000	
<b>流動資産合計</b>				<b>218,253,431</b>
<b>(固定資産)</b>				
基本財産	定期預金	西日本シティ銀行天神支店(3101569)	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	6,420,178
		福岡銀行福岡市庁内支店(0011036)	〃	13,198,424
		福岡中央銀行本店営業部(1036180)	〃	10,000,000
	普通預金	西日本シティ銀行天神支店(2596746)	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	734,002
	投資有価証券	兵庫県平成23年度第1回15年公債	運用益を公益目的事業、共益事業、管理業務の財源としている。	199,978,666
		兵庫県平成25年度第3回12年公債	〃	99,972,500
		第137回福岡北九州高速道路公社債	〃	100,000,000
		第151回利付国債	〃	75,837,350
		第158回利付国債	〃	139,858,880
		第154回福岡北九州高速道路公社債	〃	150,000,000
特定資産	退職給付引当資産	西日本シティ銀行天神支店(3049482)	退職金の財源	7,539,200
	ソフトウェア	M I C Eアプリケーション等	公益目的事業	3,477,375
その他 固定資産	建物附属設備	L A N配線移設工事	共用財産 (事務所内工事代)	649,351
	什器備品	スライド式収納庫等	共用財産 (事務所内備品)	1,691,760
	ソフトウェア	賛助会員管理システム等	共用財産 (事務所内備品)	1,031,802
	電話加入権	電話加入権 回線	共用財産 (事務所用)	907,603
	預託金	福岡法務局・第3種旅行業営業保証金	収益事業	3,000,000
<b>固定資産合計</b>				<b>814,297,091</b>
<b>資産合計</b>				<b>1,032,550,522</b>
<b>(流動負債)</b>				
未払金	観光案内所他完了払い金等	公益目的事業、管理業務	192,349,045	
	預り金	社会保険料、雇用保険、源泉所得税	役職員、臨時職員他	883,408
	賞与引当金	職員	職員8名	3,412,129
<b>流動負債合計</b>				<b>196,644,582</b>
<b>(固定負債)</b>				
退職給付引当金	職員	職員3名	7,539,200	
<b>固定負債合計</b>				<b>7,539,200</b>
<b>負債合計</b>				<b>204,183,782</b>
<b>正味財産</b>				<b>828,366,740</b>

7 収支計算書(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当初予算額	最終予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	7,473,000	7,473,000	7,471,757	1,243
受取会費	32,220,000	32,220,000	25,121,250	7,098,750
事業収益	5,902,000	5,902,000	5,560,699	341,301
受取負担金	488,817,000	488,817,000	284,577,992	204,239,008
受託事業収益	536,000	536,000	524,000	12,000
雑収益	138,000	138,000	321,308	△ 183,308
経常収益計	535,086,000	535,086,000	323,577,006	211,508,994
(2) 経常費用				
事業費	539,053,000	539,053,000	323,921,919	215,131,081
管理費	5,157,000	5,157,000	1,015,102	4,141,898
経常費用計	544,210,000	544,210,000	324,937,021	219,272,979
当期経常増減額	△ 9,124,000	△ 9,124,000	△ 1,360,015	△ 7,763,985
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,124,000	△ 9,124,000	△ 1,360,015	△ 7,763,985
一般正味財産期首残高	20,365,000	20,365,000	30,249,380	△ 9,884,380
一般正味財産期末残高	11,241,000	11,241,000	28,889,365	△ 17,648,365
II 指定正味財産増減の部				
投資有価証券受取利息	7,473,000	7,473,000	7,471,757	1,243
受取負担金	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 7,473,000	△ 7,473,000	△ 8,036,882	563,882
当期指定正味財産増減額	0	0	3,477,375	△ 3,477,375
指定正味財産期首残高	796,000,000	796,000,000	796,000,000	0
指定正味財産期末残高	796,000,000	796,000,000	799,477,375	△ 3,477,375
III 正味財産期末残高	807,241,000	807,241,000	828,366,740	△ 21,125,740

(注) 管理費に計上していた人件費、その他経費のうち、事業の目的のために要する費用については、事業費に計上している。

8 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約

該当なし

9 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約

該当なし

## 第3章 令和4年度事業計画

### 1 事業計画

新型コロナウイルスの影響を受けた観光産業の回復に向け、福岡型ワーケーションや修学旅行・バスツアー等による周遊観光の推進などに取り組むことで、地域経済の活性化を図るとともに、自然豊かな海辺エリアの地域資源を活用した滞在コンテンツの企画・造成などに取り組み、持続可能な観光を推進していく。

また、Meeting Place Fukuoka (MPF) では、多様化するMICEニーズへ対応するため、支援メニューの充実化、SDGsの視点を取り入れたコンテンツ開発を行うとともに、戦略的な誘致活動やデジタル化推進による情報発信など、ポスト・コロナ期を見据えた取り組みを推進していく。

#### (1) 地域資源を活かした観光振興及び受入環境の向上

食、歴史・文化、祭り、自然などの地域資源を活用した新たな観光コンテンツを企画・造成するとともに、「世界水泳」の開催やインバウンドの再開による国内外からの来訪者増を見据え、地元関係団体等と連携した受入準備に取り組む。

##### ① 地域資源を活かした観光振興

ア 文化財などの地域資源を活かした「体験型観光コンテンツ」の企画・造成

イ 海辺を活かした観光振興事業

志賀島・北崎地区における新たな観光コンテンツの造成や受入環境整備等の支援を行い、魅力的な観光地づくりと地域活性化を図る。

ウ 福岡市観光案内ボランティアの運営

エ 新たな「まち歩き」コースの企画・実施

オ 観光情報の発信

観光情報サイト「よかなび」での市内イベント情報等の発信や、制作した「まち歩き」動画のSNS等での配信を実施。

##### ② 祭りの振興

本市の貴重な観光資源である「博多どんたく港まつり」、「博多祇園山笠」などの祭りや、文化的行事の継続的な振興のため運営、支援を行う。

##### ③ 福岡検定の実施

福岡への愛着を深めてもらうとともに、おもてなしの心の醸成を図るため、福岡市、福岡商工会議所との共催により、福岡検定を実施する。

##### ④ 受入環境の向上

来訪者が安全安心かつ快適に過ごすことができるよう、受入環境の整備に取り組む。

ア 観光案内所(天神・博多駅)の管理・運営及びデジタルを活用した非対面・非接触によるリ

モート観光案内の実施

イ ウェルカムサポーターの運営及び博多寺社の英語ガイドの実施

世界水泳の開催やインバウンド再開を見据え、ウェルカムサポーターによる英語ガイドの研修を実施する。

ウ 観光サービス業従事者向け研修の企画・運営

エ 観光ガイドブック（日本語・外国語版）の制作・発行

## （２）観光客の誘致

関係団体・機関と連携し、国内外から観光客の誘致を促進する。

### ① 修学旅行・バスツアー等による周遊観光の推進

都市圏の自治体等と連携し、市内に宿泊する修学旅行やバスツアーのバス代支援等に取り組むことで、都市圏を含む周遊観光の推進と、域内観光産業の活性化を図る。

### ② 福岡型ワーケーション推進事業

福岡市の魅力であるビジネス環境の良さや都市機能と自然が近接したコンパクトシティの特徴を活かした「福岡型ワーケーション」の推進に向け、共働して取り組む事業者（パートナー）と連携し、長期滞在や来訪者増に繋がるサービスの造成・情報発信等を実施する。

### ③ 多様な連携

福岡都市圏や県内の団体、九州各都市や広域観光団体等との連携による共同誘致活動などを行う。

## （３）MICEの誘致及び支援

国内外のMICE誘致案件の調査・営業から、開催支援、産業振興のためのビジネスコーディネーターまでワンストップ体制で行うMPFにおいて、多様化するMICEニーズに合わせた支援を実施するとともに、ターゲットを明確化し、戦略的な誘致活動を行っていく。

### ① ポストコロナMICE支援事業

ア ハイブリッド開催支援

MICEのハイブリッド開催や安全対策、SDGs対応等の取組みを支援する。

イ 見本市等開催助成金

ポストコロナで需要回復が早く、リアル開催を重視する見本市等の誘致を強化する。

ウ コンベンションパス実証

市内周遊を促進し、参加者の満足度を高める取組みとして、コンベンションパス（コンベンション参加者用1日フリー周遊券）を製作し、活用可能性を実証する。

### ② ポストコロナMICE誘致強化事業

ア インセンティブツアー等の誘致強化

国内外のMICE見本市・商談会等に出展し、新たな販路開拓、ネットワーク構築、営業活動を行う。

イ オンラインFAMトリップ(視察ツアー)の実施

海外のMICE主催者向けに体験プログラム、ユニークベニューなどのコンテンツや福岡の魅力を発信する。

ウ 体験コンテンツの開発

SDGsの視点を取り入れた福岡ならではの体験コンテンツの開発を行う。

③ コンベンションの誘致

学会・大会の事務局やキーパーソンなどMICE主催者に対し、オンラインも含めたセールス活動を実施する。

ア コンベンションの誘致活動(市内・首都圏等でのセミナー開催や個別営業)

イ MICE見本市・商談会への参加

ウ 地元学术界・産業界とのネットワーキング

エ 国際ネットワークを活用したマーケティング活動

④ コンベンションの支援

事前準備段階から開催に至るまで、様々な支援・サービスを実施する。

ア 国際・国内コンベンション開催助成金

イ コンベンションサポート事業

主催者に対するMICE関連施設やMPFパートナー、賛助会員企業の紹介・あっせんなどの支援を行う。

⑤ MICE人材育成事業

大学生や専門学生を対象とした「福岡グローバルMICEスクール」において、MICEに関するセミナーや体験プログラムを実施し、MICE業界への興味や関心を深める場を提供する。

⑥ 関係機関・団体との連携

コンベンション誘致に係る情報収集や共同誘致活動などを行う。

ア 観光庁、日本政府観光局等との連携

イ 福岡地域戦略推進協議会、福岡商工会議所、九州経済連合会など地元経済団体との連携

ウ 九州各都市のコンベンション協会、在外公館との連携

(4) 情報発信・広報

戦略的な情報発信を行うとともに、観光・MICEに関する情報の収集・提供などを行う。

① 海外への情報発信

ア SNSを活用した情報発信(英語、中国語)

イ メディアへの情報提供、取材支援

② 広報活動

ア 財団ホームページによる情報発信

イ 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行

③ マーケティング

宿泊など統計情報や市場動向（観光・MICE）の収集・提供

**(5) 賛助会員・組織運営**

賛助会員交流会やセミナーの開催、会議・展示会の情報提供など会員の交流機会やサービスを充実させる取組みを行う。

① 賛助会員交流会等の開催

ア 賛助会員交流会、ビジネスマッチングの開催

イ 賛助会員向けセミナー、テーマ別交流会の実施

② 賛助会員サービスの提供

ア コンベンションスケジュールの作成、提供

イ メールマガジンの配信

ウ 財団ホームページ、機関誌による会員PR・情報発信

2 収支予算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

(1) 収支予算書

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7,473	7,473	0
受取会費	44,145	32,220	11,925
事業収益	8,507	5,902	2,605
受取負担金	386,120	488,817	△ 102,697
受託事業収益	500	536	△ 36
雑収益	159	138	21
経常収益計	446,904	535,086	△ 88,182
(2) 経常費用			
事業費	449,346	539,053	△ 89,707
・地域資源を活用した観光振興等	73,502	73,036	466
・観光客の誘致事業	103,867	202,954	△ 99,087
・MICEの誘致・支援事業	173,181	166,012	7,169
・広報・宣伝事業	2,751	2,903	△ 152
・組織運営の強化	3,574	3,189	385
・給与費等	92,471	90,959	1,512
管理費	5,171	5,157	14
経常費用計	454,517	544,210	△ 89,693
当期経常増減額	△ 7,613	△ 9,124	1,511
<b>2 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,613	△ 9,124	1,511
一般正味財産期首残高	21,125	30,249	△ 9,124
一般正味財産期末残高	13,512	21,125	△ 7,613
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
投資有価証券受取利息	7,473	7,473	0
一般正味財産への振替額	△ 8,281	△ 7,473	△ 808
当期指定正味財産増減額	△ 808	0	△ 808
指定正味財産期首残高	799,477	796,000	3,477
指定正味財産期末残高	798,669	796,000	2,669
<b>III 正味財産期末残高</b>	812,181	817,125	△ 4,944



## (2) 収支予算書内訳書

(単位：千円)

科 目	内 訳 表				合 計
	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消 去	
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1 経常増減の部</b>					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	3,737	1,868	1,868	0	7,473
受取会費	44,145	0	0	0	44,145
事業収益	7,292	1,215	0	0	8,507
受取負担金	377,017	5,166	3,937	0	386,120
受託事業収益	500	0	0	0	500
雑収益	0	0	159	0	159
経常収益計	432,691	8,249	5,964	0	446,904
(2) 経常費用					
事業費	440,146	9,200	0	0	449,346
・地域資源を活用した観光振興等	73,502	0	0	0	73,502
・観光客の誘致事業	103,867	0	0	0	103,867
・MICEの誘致・支援事業	173,181	0	0	0	173,181
・広報・宣伝事業	2,751	0	0	0	2,751
・組織運営の強化	0	3,574	0	0	3,574
・給与費等	86,845	5,626	0	0	92,471
管理費	0	0	5,171	0	5,171
経常費用計	440,146	9,200	5,171	0	454,517
当期経常増減額	△ 7,455	△ 951	793	0	△ 7,613
<b>2 経常外増減の部</b>					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	54	△ 54	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,401	△ 1,005	793	0	△ 7,613
一般正味財産期首残高					21,125
一般正味財産期末残高					13,512
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
投資有価証券受取利息	3,737	1,868	1,868	0	7,473
一般正味財産への振替額	△ 4,545	△ 1,868	△ 1,868	0	△ 8,281
当期指定正味財産増減額	△ 808	0	0	0	△ 808
指定正味財産期首残高					799,477
指定正味財産期末残高					798,669
<b>III 正味財産期末残高</b>					812,181

